

# 目次

---

今回の授業内容	1.1
出力画面の準備	1.2
HTMLの作成	1.2.1
見出しを追加	1.2.2
読込ボタンを追加	1.2.3
結果出力領域を追加	1.2.4
デザインを設定	1.2.5
プログラム作成	1.3
ファイル選択を検知	1.3.1
選択したファイルを読み込む	1.3.2
読み込んだ内容を分解	1.3.3
分解した内容を出力	1.3.4

# 今回の授業内容

---

## 1) 目的

プログラム開発を通して、アルゴリズムの考え方を学習します。

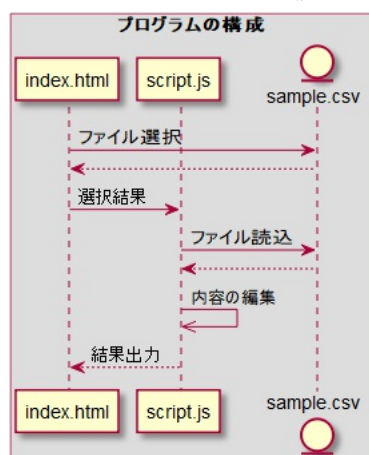
## 2) 開発するプログラムの機能

次の機能を持つプログラムを開発します。

1. PC上のCSVファイルを参照する。
2. 参照したファイルの内容を読み込む。
3. 読み込んだ内容を画面に出力する。

## 3) プログラムの構成

今回開発するプログラムの構成は、次のようになります。



### 3.1) index.html

読み込んだ「CSVファイル」の内容を出力する為のWeb画面を作成するためのファイルです。

### 3.2) script.js

CSVファイルの内容を読み込んでWeb画面に出力するプログラムのファイルです。  
出力先の画面は「index.html」です。

### 3.3) sample.csv

読み込み対象の「CSVファイル」です。 ファイルの内容は下記の通りです。

```
0001,itemA,500
0002,itemB,300
```

```
0003,itemC,400
0004,itemD,500
0005,itemE,200
```

### 3.4) 最終的な出力結果

今回作成するプログラムは、最終的に次の画面を出力します。

#### CSVファイルの読込

##### 読込ボタン

ファイルを選択 sample.csv

##### CSVファイル内容

品番	商品名	価格
0001	itemA	500
0002	itemB	300
0003	itemC	400
0004	itemD	500
0005	itemE	200

## 出力画面の準備

---

## HTMLの作成

---

## 見出しを追加

---

## 読込ボタンを追加

---

## 結果出力領域を追加

---



## デザインを設定

---

## プログラム作成

---

## ファイル選択を検知

---

## 選択したファイルを読み込む

---

## 読み込んだ内容を分解

---

## 分解した内容を出力

---